

# 湯河原ロータリークラブ



## WEEKLY REPORT

心の中を見つめよう  
博愛を広げるために

第 2445回 例会  
平成24年5月11日(金)  
天候 晴れのち曇り  
合唱 君が代  
我らが生業  
四つのテスト

会 長 伊藤 伸之

幹 事 望月 博文

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町土肥 1-14-25  
中川方 TEL/FAX 0465(62)3056  
例会場 静岡県熱海市泉 107/TEL0465(63)3721  
ニューウェルシティ湯河原  
例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

### 会長挨拶

ゴールデンウィークも終わりましたが今日は五月晴れの気持ち良い日になりました。ロータリー一年度もあと2ヶ月となり普通だと次年度に向けて活動に入るところですが、50周年記念事業のモニュメントの除幕式が6月15日に控えておりこのため高杉実行委員長をはじめ会員皆様方のご協力をまだまだ頂けないと出来ないものですから宜しくお願いいたします。記念誌につきましては記念誌委員長である神谷会員が竹田印刷さんと連絡をとりあっています。来週には大枠が分かるかと思いません。引き続き宜しくお願い致します。

### 幹事報告

ガバナー

#### 1. R財団地域セミナー

7/2 登録8:00 セミナー9:00 懇親会17:00  
プリンスホテル高輪 会費10000円

#### 2. 地区ロータリー財団地域セミナー

6/9 国際キリスト大学 10:00~21:00  
会費6000円

### スマイルBOX

土屋一博君 会員誕生日 5/11  
平間章弘君 結婚記念日 5/8  
渡辺久恭君 婦人誕生日 5/6 (雅子様)  
安江明孝君 入会記念日  
石川 博君 入会記念日  
土屋一博君 入会記念日

### 50周年記念式典委員長

高杉尚男君

式典も無事に終わりましたが、記念品のモニュメント除幕式が6/15 11時より開式します。参加予定者は、全会員、富田町長、露木副町長、高橋議長、佐藤副議長、村瀬・観光委員長、同土屋副委員長その他として、製作者のクレーレの方々を含め多数となります。

出来るだけ多くの参加を希望しております。

### お知らせ

山本明峰次年度会長

次年度の各委員長さんは活動報告書の原稿をお願いいたします。なお、会報委員は各月一人ずつの担当となりますのでよろしくお願いいたします。

出席報告	ゲスト 0名 ビジター 0名		
	会員 26名	欠席 8(4)名	出席率 81.82%
	前回の修正出席率 100%		前々回の修正出席率 100%

次年度広報委員長 石川 博君

平成24年5月11日

## 2012国際ロータリー第2780地区

### 広報セミナーと地区協議会広報委員会に出席して

先月の4月12日(木)藤沢産業センターで行われた広報セミナーと4月22日(日)湘南工科大学で行われた地区協議会の広報委員会の報告をいたします。

尚、主に、ロータリーの友地区委員で広報・雑誌部門の渡辺治夫さんのスピーチをご紹介します。

1. 日本でロータリーという名前を知らない人が50%、名前を知っているが中味を理解していない人が28.5%というアンケート結果が出ています。また若い人ほど認知度が低く、金銭面での貢献についてはわずか10%しか関心を示していないと言うことです。

この報告は、私たちの活動が本当に地元の人々に合っていたのか、またどれだけ適切な広報がなされていたのかを問いかけています。

2. 世界のロータリアンが大きなお金と時間を掛けて取り組んだポリオ・プラス運動が大変に大きな成果を挙げている事実を国民の何%の人が理解しているのか大変に疑問です。全国規模で広報週間を設け、地区、分単単位で全国一斉に広報活動を行うことで市民の関心と理解は深まると思います。

3. プライドをもってバッジを着けよう。これこそ真の広報です。真のロータリアンに

なることを目指し、日々努力していることを自覚すること。そのことにプライドを持ってバッジを着けるなら、おのずから尊敬されるようになり、それこそ真の「広報」と考えます。

4. ロータリークラブの広報とは、その地域に密着した活動を根気よく継続する結果として評価されるべきものです。

5. 現会員を教育することによって質を向上してこそ、最優先すべき広報活動です。内部向けの教育活動が、結果として外部から高い評価を得られる第一歩になります。

「広報」には外部に向けるものと内部に向けるものの両方あり、両方とも大変に重要であり、皆で考えていくべき重要なテーマであることが分かります。

カルヤン・パネルジーRI会長は、会長エレクトの際に広報の重要性について次のように仰っています。

○私たちは、「ロータリーはこんなに良い仕事をしているのだから、世界が見てくれているはずだ。」と思いきや、世界はロータリーの活動に気付いていません。

エバンストンの国際ロータリー本部から百メートル程度のところにいる学識ある人々ですら、『ロータリーって何ですか』と聞いてくるのです。私たちは、ロータリーを世界に伝える必要があるのです。国や地域によって、伝え方は異なるかもしれませんが、私たちには語るに値する話があるので、それを伝える必要があるのです。

又、公共イメージと会員増強は密接につながっています。知的で教養があり、ロータリーに参加してしかるべきは多くの人が、ロータリーがどのようなものであるか知りません。この点こそが、私たちが正面から取り組む必要があることなのです。森ガバナーは、

「一番大切なことは、例会以外の時でも我々がバッジを着けて、常に動く広告塔としての習慣を身につける事だと思えます。そして、元来『ロータリーは親睦と奉仕』と言っていますが、『親睦ももちろん大事ですが、奉仕プログラムに参加することもとても大切です。』と言うことが最近のRIの考え方です。奉仕プログラムをクラブは実施して、それをいかに会員に参加させるか。全員参加の奉仕プログラムをいかに創っていくかが、これからの課題になると思います。我々は職業人の集まりですから、立派な職業人として奉仕活動することが我々のイメージアップに繋がるわけですから、そう言う方向を是非考えて頂きたいと思えます。」と述べておられます。

森ガバナーの示された『公共イメージと認知度の向上』の中で「奉仕プログラムへの全員参加が大切である」とありますが、それを推進するためには、参加者全員が元気を出して楽しむことが重要だと存じます。

そのための一つの方法を提案させていただきます。

社会奉仕プログラムには「のぼり旗」を数多く立て、全員がおそろいの「黄色いチョッキ」を着けて盛り上げを図って下さい。「のぼり旗」「チョッキ」も貸し出しておりますので是非ご活用頂きたいと存じます。

移動のない奉仕プログラムであれば、地区WebからポスターやDVDデータをとって会場に飾り付けたり、ノートパソコン等で映像を映したりして、奉仕活動の様子を今までよりビジュアル化して下さい。そうすることでクラブに元気が出てきます。そして奉仕プログラムへの参加を皆が楽しむようになり、それが「公共イメージと認知度の向上」に繋がります。

広報委員会の終わりに、クラブとロータリーについて他の人々に話すことは、ロータリーを推進する最も効果的な方法の一つです。以下の質問に対して、1分以内に答えられるよう常に準備しておきましょう。

#### ●ロータリーとは何か

ロータリーは、大きな影響力を持つ世界最大の国際的な人道奉仕団体です。全世界約200以上の国と地域に3万3千を越えるロータリー・クラブが存在し、120万人のクラブ会員がいます。

1905年以来、ロータリーの会員は、ボランティアとして世界中で地域社会のニーズに取り組んできました。

#### ●ロータリアンとはどのような人々か。

ロータリーは、事業・専門職務のリーダーと地域社会のリーダーからなる世界的ネットワークです。

ボランティア活動を通じて、ロータリー会員は友情を築きながら、事業や職業の知り合いの輪を広げています。

国際奉仕プロジェクトへの参加を通じて、ロータリー会員は世界中の人々とつながり、異文化間の理解を推進しています。

#### ●ロータリーとは何をする団体か。

ロータリーは、教育的および人道的プログラムを通じて平和と国際理解を推進しています。

ロータリーの提供している国際奨学金プログラムは、民間団体として世界最大規模を誇るものです。1947年以来、100カ国、3万8千人の学生のためにおよそ5億ドルの奨学金を授与してきました。文化の親善使節となるこれらの奨学生は、留学を通じて学んだことを生かしながら、地元の地域社会に貢献しています。

ロータリー・クラブは、毎年、社会的不安や紛争、飢餓、貧困、疾病、非識字といった問題の根本的原因に取り組む人道的プロジェクトを数多く実施しながら、平和を推進しています。

世界からポリオ(小児麻痺)を撲滅することが、ロータリーの最優先する人道的目標です。

1985年以来、ロータリーの会員は、122カ国、20億人以上の子供にワクチンを投与するため、時間と資金を投入してきました。

ロータリーは、現在までに、ポリオとの闘いに8億ドル以上を寄付し、無数のボランティアを提供してきました。

その結果、ロータリーと協同団体の活動によって、世界のポリオ患者数は99%減少しました。

現在、ポリオの常在国は、アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3カ国を残すのみとなりました。確か、最近インドは常在国から外れたと思えます。

2007年と2009年、ビル・アンド・メリнда・ゲイツ財団は、総額3億5500万ドルをロータリー財団に寄付しました。それに応え、ロータリーは2012年6月30日までに2億ドルを独自に集めることを目標にし、それを既に達成しました。

私たちロータリアンは、普段何気なく承知しているようで、いざ言葉で表現する機会に遭遇すると、ロータリーについて、なかなかすらすらと言えないものです。改めて、その重大さを認識しクラブ運営、会員増強等に活用しなくてはならないと、自覚致しました。

次ぎに、ロータリーの広報・雑誌にとりまして大きな役割を果たしている「ロータリーの友」について申し上げます。

ある地区で、「ロータリーの友」との付き合い方を5つのタイプに分類していただきましたので紹介します。

①読む人 ②見る人 ③積んでおく人 ④捨てる人 ⑤持ち帰ることすらない人でございます。

本来、全てのロータリアンが①の「読む人」にならなくてはなりません。この「ロータリーの友」の購読は「例会出席」「会費納入」と並んでロータリアンの三大義務として位置づけられています。

「ロータリーの友」購読は、私たちロータリアンの大きな義務の一つであって、大変重要なものです。私たちは「ロータリーの友」を通じて、より多くのロータリアンに出会い、経験談や職業上の知識、また、さまざまな意見や考え方に触れる事が出来、その事はロータリーへの理解の深まりや新しい発見、そしてロータリアン一人一人の心の豊かな広がりにも貢献しています。

森ガバナーは仰っています。

○「ロータリーは知れば知る程、理解すればする程、ロータリーの活動そのものが楽しくなる」

○私たちはロータリーを「より楽しむために」「義務を果たすために」「すばらしい活動をしていくために」「『ロータリーの友』を読むべきだと思います。」

ロータリーの広報・雑誌の目的は、ロータリーを広く知って頂き、仲間を増やすことでもあります。

ロータリーの活動を理解して頂けたら、同じ志を持たれる方が必ずいらっしやるはず。その方々はきっと仲間になりたいと思われるでしょう。私は、これ以上強力な会員増強策はないと思うのです。

だからこそ、先ず私たち一人一人がこのロータリー活動のすばらしいメッセージの伝道者でなければならないと存じます。

また、私たちの意義ある活動が人々から認識されることによって、私たちの士気も高まります。

地区広報・雑誌委員会は、元気あるクラブを作るための支援を致します。

以上、報告をさせていただきます。

湯河原ロータリークラブ